

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公表番号】特表2008-526398(P2008-526398A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-550652(P2007-550652)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

A 6 1 L 9/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/12

A 0 1 M 1/20 E

A 6 1 L 9/03

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月5日(2009.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも3種の揮発性液体のうちの1種を大気中に供給するように適合された装置であって、大気中に個々の液体を運ぶ空気流の源(2)を含み、

(a) 空気流の源がファンまたはインペラードであり；

(b) ファンまたはインペラードから半径方向に延びる、揮発性液体の数に対応する、ファンまたはインペラードの回転面と同一平面上の複数の空気チャネル((3)および(8))であって、前記空気流がそれらを通過して流れ、各チャネルが異なる揮発性液体放出部材(9)、次いで大気中に至るように配置された、前記複数の同一平面上の空気チャネルを有し；

(c) 各チャネルにおいて、前記源と前記揮発性液体放出部材との間に位置し該チャネルを遮断してそれを通過する空気の流れを防止する手段(4)を含むことを特徴とする、前記装置。

【請求項2】

遮断手段(4)が電磁気的に作動される、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

装置中に用意されている少なくとも3種の揮発性液体から選択される少なくとも1種のそのような液体を、大気中に拡散させる方法であって、

空気流の源(2)から、揮発性液体の数に対応する数の複数の空気チャネル((3)および(8))を通って空気流を通過させることを含み、

(a) 空気流の源はファンまたはインペラードであり；

(b) 前記個々のチャネルは、相互に同一平面上にあり、かつ、ファンまたはインペラードの回転面と同一平面上にあり、それぞれのチャネルが、ファンまたはインペラードから半径方向に延びて、異なる揮発性液体放出部材(9)、次いで大気中に至り、各チャネルは、前記源と前記揮発性液体放出部材との間で個別に遮断することができることを特徴とする、前記方法。